

海部西部圏域福祉有償運送運営協議会 会議録（概要）

会 議 名	海部西部圏域福祉有償運送運営協議会
開 催 日 時	令和８年３月６日（金） 午後２時００分から午後３時０５分まで
開 催 場 所	愛西市役所 北館３階 災害対策本部兼会議室１・２
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	津島市民生委員・児童委員協議会連絡会長 山田 久孝 行政相談員 石塚 俊男 名古屋タクシー協会副会長 石川 優 全国自動車交通労働組合連合会愛知地方連合会執行委員会委員長 谷口 雅也
協議事項等	●協議事項 （１）海部西部圏域における福祉有償運送の必要性について （２）その他
公開／非公開 の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	０人
会 議 資 料	海部西部圏域福祉有償運送運営協議会次第 海部西部圏域福祉有償運送運営協議会委員名簿 海部西部圏域福祉有償運送運営協議会規約 資料１ 津島市・愛西市の人口等の状況 資料２ 津島市・愛西市のタクシー事業者の状況
審 議 経 過	別紙のとおり

海部西部圏域福祉有償運送運営協議会

役 職	団体・機関名	役職・氏名
会 長	愛西市保険福祉部	部長 田口 貴敏
副会長	愛西市ボランティア連絡協議会	会長 村上 尚美
委員	津島市福祉部	部長 安井 賢悟
〃	愛西市老人クラブ連合会	会長 小林 啓克
〃	くわがたの会	京條 美代子
〃	愛知運輸支局	首席運輸企画専門官(輸送担当) 山田 慎児 (代理) 黒田 博昭
〃	名古屋タクシー協会	福祉関連委員会委員長 田中 英雄
〃	特定非営利活動法人 ひとまち生活 ネット津島	大鹿 一八
〃	利用者代表	前野 妙子

事務局

所属等	役職・氏名
津島市福祉部福祉課	補佐 古田 志保
〃	主査 金津 裕俊
愛西市保険福祉部社会福祉課	課長 水野 裕公
〃	補佐 永井 秀和
〃	補佐 加藤 大輔

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
	< 開会 > 1 主宰者あいさつ 愛西市保健福祉部長 2 委員紹介 3 会長及び副会長の選任 海部西部圏域福祉有償運送運営協議会規約（以下「規約」という。）第6条第1項の規定により会長は愛西市保険福祉部長の田口委員。副会長にボランティア連絡協議会会長の村上委員を指名。 4 協議事項 (1) 海部西部圏域における福祉有償運送の必要性について 資料1、2について説明。 津島市及び愛西市においては、移動支援として福祉タクシー料金の助成や巡回バスの運行、外出支援サービス等を行っておりますが、福祉有償運送については、利用数の減少がみられるものの、利用対象となり得る介護保険の要介護認定者数などは増加しております。 介助が必要な高齢者の方が外出される際に安全に移動していただくためにも、移送サービスである福祉有償運送は今後も必要と考えております。
事務局	
会長	ただいま事務局からの説明がございましたが、海部西部圏域における福祉有償運送の必要性についてご質問、ご意見などございましたら、よろしく願いいいたします。
委員	津島市の令和7年度からの変更の案内を説明。
会長	他にございませんか。

委員	資料１の（４）福祉有償運送の状況の中で「ひとまち生活ネット津島」の令和６年度利用者が令和５年に比べて、半分以下になっているのはなぜか。 自分自身が高齢になったことから、福祉有償運送の運転手から引退したことに加え、ボランティアの高齢化による引退、また、運転者も２人亡くなっている等の理由により対応ができなくなっている。 また、別の事業として、福祉タクシー事業を行っており２台ある福祉タクシーを運行しており、新たな会員の受け入れをほとんど行っていない。しかし、現在の会員が高齢化や利用者の重症化により、新しい会員を受け入れ責任をもって、対応することができない状況である。その結果、利用者数が減少している。しかし、福祉有償を廃業してしまうことは、会員の命にもかかわるため、現在は、若いボランティアを育てることが必要であるため、コミュニティ紙の刊行による啓発を行うなど、今後、若いボランティアが育つよう努力している。 このような状況であるため、新たな利用者は原則受け付けていないが、他市の行政より福祉有償を行ってほしいという要望も受けています。ですので、もう少し頑張っていこうと思っています。
会長	ありがとうございます。ほかにご意見はありませんか。
委員	令和８年度に、福祉有償運送の更新は可能か。
委員	福祉有償運送の更新は行う。 廃止することは考えていない。しかしながら、継続していくのは厳しい状況。若いボランティアが参入してくれなければ、先細りになってしまう。厳しい状況である。
会長	ありがとうございます。委員の思いには頭が下がる。大変さは、よく理解できる。今後とも地域のために頑張ってください。
委員	行政にもお願いしたいが、研修等を開催して福祉有償運送に取り組もうとするボランティアの方は見えるが、NPOの立ち上げや福祉有償運送の認可を受けることについて、難しいと感じている。手続きや申請について面

	倒な部分はあるが、運輸局に相談しながら行えば、十分に可能である。運輸局に相談に行くよう指導していただきたい。
会長	福祉有償運送の認可について、運輸局へ相談し、指導を受けることは可能か。
委員	可能です。
委員	福祉タクシーや福祉有償運送は、難しくてできない、との思い込みが、ボランティアの方にある。やる気をもって、運輸局に相談すれば、進めることは可能である。行政も後押しをしてほしい。
会長	ありがとうございます。 タクシーについてお伺いしたいが、タクシーを呼んでも、なかなか来ていただけない。特に午前中、朝一番に通院しようとする、福祉タクシー、一般タクシーにかかわらず、予約しなければ来ていただけない状況だと聞かすが、実際は、どのような状況なのかお伺いしたい。
委員	全体的なことはわからないが、名古屋市内では、コロナ前の9割ぐらいまで、タクシーのドライバー数は戻っている。確かに通院時間帯等の配車は重なっているが、断る状況ではない。多少お待たせすることはあるが、断る状況にはない。
会長	エリアによって、状況が違うということか。
委員	海部圏域のタクシー会社が、どのくらいのドライバーを抱えているのかは、把握していなが、相対的には先ほどお話しした通りです。
委員	先日、一宮市や稲沢市の会議に出た際にも、朝一番はタクシーが捕まらなく厳しいとのことであった。やはり名古屋に比べ、他地域の状況は厳しいのかもしれない。
会長	市役所からタクシー券を配布しているが、予約ができないとの問い合わせがある。

委員	実際に名古屋以外のところで、デマンド交通をやられているところでも、午前中は、地元のタクシー会社でも受けられない事案が発生しているとのことであった。
委員	現実的に津島市・愛西市周辺では、なかなかタクシーは来ない。また、障害者に対応するタクシーは、さらに絞られる。この状況を踏まえ、真剣に検討する必要があると考える。今後高齢化が進めば、より厳しい状況になる可能性がある。
会長	それでは、質疑も尽きたようですので、当圏域における福祉有償運送の必要性については、必要性があるということで承認いただいた、ということですのでよろしくお願いいたします。 それでは、全ての議題を終了とさせていただきます。皆様、本当に貴重なご意見ありがとうございました。